



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 ネットイヤーグループ株式会社  
 コード番号 3622 URL <http://www.netyear.net/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石黒 不二代  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 播本 孝  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-6369-0550

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	3,585	25.9	32	—	33	—	9	—
25年3月期第3四半期	2,848	12.5	△103	—	△102	—	△118	—

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 12百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △118百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第3四半期	1.49	1.44
25年3月期第3四半期	△17.86	—

(注)1. 前四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

2. 当社は、平成25年1月1日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円銭	百万円	円銭	%	円銭	円銭	
26年3月期第3四半期	2,894	271.87	1,858	271.87	63.9	271.87	271.87	
25年3月期	2,455	276.10	1,844	276.10	74.9	276.10	276.10	

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 1,849百万円 25年3月期 1,837百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	0.00	—	3.25	3.25
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.25	3.25

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	5,000	14.8	180	26.6	178	23.8	87	△3.1	12.93

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) 株式会社日本技芸、除外 1社 (社名)  
(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	6,803,300 株	25年3月期	6,656,900 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	66 株	25年3月期	66 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	6,724,554 株	25年3月期3Q	6,656,900 株

(注)当社は、平成25年1月1日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期中平均株式数(四半期累計)」を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご活用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和の影響による個人消費や内需の改善を背景に景気回復の動きが見られました。また、当社グループをとりまく事業環境といたしましては、小売企業や消費財メーカー等を中心に、実店舗、Webサイト、ソーシャルメディア、ダイレクトメール等、あらゆる顧客接点を連携させることで顧客ロイヤルティの向上、売上の拡大を目指す「オムニチャネル」を構築する動きが強まるなど、企業におけるインターネット技術の活用が一層活発になってきております。

このような状況の下、当社におきましては、好調な営業環境を背景に、売上の約9割を占めるWEBサイトやシステム開発等の受託分野を中心に、前年同期と比較して大幅に売上を進捗させることができました。また、プロダクト分野においては、12月にセールスフォース・ドットコムが発表した新しい開発基盤である「Salesforce1 Platform」に対応した「rakumo ソーシャルスケジューラー for Salesforce1」を当社グループ会社である株式会社日本技芸がリリースする等、継続的なサービス強化、商品力の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、3,585百万円(前年同期比25.9%増)、営業利益32百万円(前年同期は営業損失103百万円)、経常利益33百万円(前年同期は経常損失102百万円)となりました。また、法人税、住民税及び事業税を20百万円計上したこと等から、四半期純利益は9百万円(前年同期は四半期純損失118百万円)となりました。

なお、当社グループの事業は、従来より売上高が第2四半期連結会計期間、第4四半期連結会計期間に集中し、特に多くの顧客企業の事業年度末となる第4四半期連結会計期間に偏重する傾向がありますが、経済環境その他の要因によっては今後もこの傾向が続くとは限りません。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比べ438百万円増加し、2,894百万円となりました。主な要因は、株式会社日本技芸の新規連結によるのれんの増加303百万円、敷金の増加115百万円等によるものであります。

当第3四半期末の負債は、前連結会計年度末に比べ424百万円増加し、1,035百万円となりました。主な要因は、運転資金借入れによる長期借入金の増加415百万円等によるものであります。

当第3四半期末の純資産は、前連結会計年度末に比べ14百万円増加し、1,858百万円となりました。主な要因は、四半期純利益9百万円の計上、ストック・オプションの行使による資本金の増加11百万円及び資本剰余金の増加11百万円、前期決算に係る配当金の支払21百万円等によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、概ね見込みどおりに推移しており、平成25年10月31日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間から、株式会社日本技芸は同社株式を売買により取得したことにより当社の子会社となったため、連結の範囲に含めております。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,051,078	1,122,580
受取手形及び売掛金	1,020,163	764,525
仕掛品	53,330	207,026
原材料及び貯蔵品	40	599
繰延税金資産	64,179	64,172
その他	37,121	40,892
流動資産合計	2,225,914	2,199,796
固定資産		
有形固定資産	35,645	25,390
無形固定資産		
のれん	15,666	319,540
その他	9,327	61,119
無形固定資産合計	24,993	380,660
投資その他の資産		
投資有価証券	58,595	60,186
敷金及び保証金	108,402	224,390
繰延税金資産	1,584	1,584
その他	0	2,102
投資その他の資産合計	168,582	288,263
固定資産合計	229,221	694,315
資産合計	2,455,136	2,894,111
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	233,184	234,181
1年内返済予定の長期借入金	13,342	128,920
未払金	85,969	110,467
未払法人税等	35,344	6,075
賞与引当金	104,266	72,172
役員賞与引当金	21,083	—
受注損失引当金	145	33,449
その他	116,891	149,606
流動負債合計	610,226	734,873
固定負債		
長期借入金	—	300,245
繰延税金負債	61	41
固定負債合計	61	300,286
負債合計	610,288	1,035,159

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	528,206	539,884
資本剰余金	609,272	620,943
利益剰余金	700,356	688,717
自己株式	△23	△23
株主資本合計	1,837,812	1,849,522
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	111	74
その他の包括利益累計額合計	111	74
少数株主持分	6,923	9,354
純資産合計	1,844,847	1,858,951
負債純資産合計	2,455,136	2,894,111

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	2,848,481	3,585,167
売上原価	2,363,176	2,912,813
売上総利益	485,304	672,353
販売費及び一般管理費	589,288	639,756
営業利益又は営業損失(△)	△103,983	32,596
営業外収益		
受取利息	664	726
受取賃貸料	549	2,349
その他	1,207	1,550
営業外収益合計	2,421	4,626
営業外費用		
支払利息	533	2,524
支払手数料	562	562
その他	—	713
営業外費用合計	1,095	3,800
経常利益又は経常損失(△)	△102,657	33,422
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△102,657	33,422
法人税、住民税及び事業税	9,329	20,988
法人税等調整額	6,305	7
法人税等合計	15,634	20,995
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△118,292	12,427
少数株主利益	567	2,431
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△118,860	9,995



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△118,292	12,427
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	63	74
その他の包括利益合計	63	74
四半期包括利益	△118,229	12,501
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△118,796	10,070
少数株主に係る四半期包括利益	567	2,431

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。